

学校評価報告書

中間 **年度末**

令和5年度 内灘町立内灘中学校

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な 具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の 達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答 %	○成果 ◆課題 ・改善策
学力の向上	① 授業力の向上	授業中に、生徒を認めたり、アドバイスしたりしている。【R5新】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 100(新) A 100(新)	56.1 64.1	○ 生徒を褒め、認めることへの教職員の意識は高まっている。生徒の肯定的評価も高く、ある程度は生徒に伝わっていると思われる。 ◆ 授業アンケートの生徒回答で「授業中に先生に認められたり、アドバイスされたりしている」に対する生徒の肯定的回答は92.6%である。7.4%の生徒が不十分であると感じている。 ・ あらゆる機会を通して教職員の指導の徹底をはかっていく。また、「指導したことを褒め、認めること」により、好循環を生む指導を行う。
		授業の中で「今、何に取り組めばいいのか」を明確に指導した。	教職員アンケート		A 97.6(新) A 94.9(新)	70.7 56.4	
		生徒が「わかった」「できた」を実感できる授業をしている【町共通項目】	教職員アンケート		A 92.7(95.0) A 100(94.9)	36.6 41.0	
		授業は分かりやすい。【町共通項目】	生徒アンケート		A 92.9(92.2) A 93.7(91.8)	42.2 39.0	
		学校は、分かりやすい授業や学力向上に努めている。【町共通項目】	保護者アンケート		B 88.2(89.3) B 89.7(89.8)	18.5 16.3	
		生徒の意欲を高める「課題」を設定している。(R5改)	教職員アンケート		B 87.8(82.0) B 89.7(79.5)	31.7 41.0	
		活動の際に、「つなぐ・広げる・深める」の、教師の適切な働きかけを意識している。	教職員アンケート		B 87.8(87.0) B 87.2(82.1)	34.1 30.8	
		校内研修会は、意識向上や指導力向上につながった。	教職員アンケート		A 90.2(89.0) A 97.4(87.2)	43.9 48.7	
	② 学習規律の確立	学習規律(授業ルール)の定着に向けた取組に努めた。	教職員アンケート		A 97.6(92.0) A 97.4(94.9)	61.0 53.8	○ 肯定的評価は前期同様、高い位置で推移している。 ◆ 望ましい姿について、教員間で共通理解したことを生徒にも継続して伝えていくことが大切である。 ・ 委員会やリーダー会等、生徒自身による取組を短期で行い、改善しようとする気持ちを生徒にもたせていく。
		授業の規律をしっかり守って取り組んでいる。(R5改)	生徒アンケート		A 95.4(95.5) A 94.3(95.5)	52.8 46.9	

学校評価報告書

中間 **年度末**

令和5年度 内灘町立内灘中学校

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な 具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の 達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答 %	○成果 ◆課題 ・改善策
学力の向上	③ 家庭学習の 定着	家庭学習の習慣(目標の時間)が身につくように指導している【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	C 78.0(79.0) B 82.1(76.9)	24.4 23.1	◆ 家庭学習について、教職員は前期に比べて指導しているが、生徒の様子はあまり変化していない。家庭学習への指導以前に、授業後も学習したくなるような授業をすることが大切である。 ・ 1・2年生で、家庭学習の開始時刻を揃える取組を行っている。授業改善も含め、継続的にやっていく。
		自分で計画を立てて勉強している。[全国質問紙]	生徒アンケート		C 73.9(73.0) C 69.3(70.4)	29.5 30.2	
		目標の時間以上の家庭学習をだいたいしている。【町共通項目】	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	C 66.0(67.3) C 67.0(68.8)	24.4 26.8	
		わが子は、自分で計画を立てて勉強している。【町共通項目】	保護者アンケート		D 53.6(52.6) D 54.9(52.5)	13.1 13.5	
生徒指導の充実	① 積極的な生徒指導の推進	いじめや不登校等の問題に対して組織的に取り組んでいる。(学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況)【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が95%以上 B:①+②が90%以上 C:①+②が85%以上 D:①+②が85%未満	B 93.0(100) A 100(94.9)	58.1 55.0	◆ 全職員が緊張感をもって指導にあたることを継続することが大切である。指導の濃淡がないよう、組織として指導をしていくことが大切である。 ・ 取組の終了報告までを主任・主事が受け、取組の徹底度を高める。 ◆ 「理由があれば人に嫌な思いをさせてもよい」という考えが間違っていることを繰り返し指導していく。 ・ 道徳の授業を中心に、自他を大切にすることを育てる指導を継続していく。 ○ 生徒を褒めて認めることについての教職員の意識は高まっている。 ◆ 教員の①回答を100%に近づけたい。 ・ 特別支援教育の視点を持ち、「どの子にとっても丁寧でわかりやすい」指導を目指していく。そのための研修が必要である。
		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	生徒アンケート	A:①+②が100%以上 B:①+②が95%以上 C:①+②が90%以上 D:①+②が90%未満	B 97.5(98.4) B 97.5(97.9)	81.8 82.9	
		学校は、いじめや不登校等の問題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。【町共通項目】	保護者アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	B 87.8(83.3) A 90.8(83.8)	28.4 18.7	
		生徒の基本的な生活習慣の定着を図ることに努めた。	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 97.6(92.0) A 97.4(94.9)	35.7 43.6	
		一人一人の生徒を大切に、「認めて、褒めて、伸ばす」指導を心がけている	教職員アンケート		A 95.2(97.0) A 100(97.4)	50.0 59.0	
		先生は、あなたのよいところを認めてくれる。	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 92.1(92.0) A 90.7(88.8)	46.0 45.8	
		自分は特別支援教育の視点をもった指導を行っている。(R5改)	教職員アンケート		B 85.7(82.0) B 89.7(79.5)	23.8 20.5	

学校評価報告書

中間 年度末

令和5年度 内灘町立内灘中学校

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答%	○成果 ◆課題 ・改善策
生徒指導の充実	① 積極的な生徒指導の推進	先生方は、意見や思い、悩みを聴いてくれる。(R5改)	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 93.4(93.4) A 95.0(90.7)	50.7 48.8	○ 生徒の話をじっくりと聴く教員の姿勢について、生徒も肯定的に感じているようである。 ・ 生徒の話を聴くスキルについて、研修を行った。継続して実施していきたい。
		学校は、わが子の意見や思い、悩みを聴いてくれている。[R5新]	保護者アンケート		B 89.5(新) A 90.8(新)	21.8 18.3	
		学校は、保護者からの連絡や相談に適切に応じてくれる。(R5改)	保護者アンケート		A 94.1(87.0) A 94.7(89.8)	34.9 34.9	
		きちんとした生活習慣や態度(時間を守る・服装等)を心がけている。	生徒アンケート		A 92.1(91.4) A 91.2(90.4)	45.2 44.5	
		学校でしっかりとあいさつをしている。	生徒アンケート		A 92.3(92.7) A 91.2(92.5)	55.0 53.7	
		わが子は、家庭であいさつをしている。	保護者アンケート		B 88.6(88.6) B 89.5(88.0)	46.3 46.4	
豊かな心の育成	① 道徳教育の推進	道徳の授業を中心に、豊かな心や感性を育むよう指導している。【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 95.2(90.0) A 97.4(97.4)	35.7 36.8	○ いしかわ道徳の指定研究を通して、校内研修を重ねることにより、教職員の意識が高まりが感じられる。 ・ 道徳科での学びを教科の指導に生かす意識を全教職員が意識して取り組むことが必要である。
		学校は、道徳の授業を中心に豊かな心や感性を育むよう指導している。【町共通項目】	保護者アンケート		A 93.5(90.3) A 94.8(90.2)	19.9 15.5	
	② 学校行事・生徒会活動等の活性化や集団づくり	清掃をしっかりと行わせるよう指導した。(R5改)	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 97.6(89.0) A 100(87.2)	47.6 51.3	◆ 前期同様、生徒の肯定的回答の割合は高いが、実際の取組の様子は改善する必要があると考えている。 ・ 清掃マイスターの取組を継続し、清掃に取り組むことのよさを継続して価値付けしていきたい。
		清掃に真面目に取り組んでいる。	生徒アンケート		A 96.7(94.7) A 95.0(93.6)	53.2 51.7	
		行事や生徒会活動・委員会等に積極的に取り組むよう支援に努めた。	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 95.2(90.0) A 97.4(97.4)	45.2 41.0	○ 生徒会執行部、専門委員長等、リーダーの動きがとてもよい。行事だけではなく、常時活動を充実させようとする生徒の姿がみえる。
		行事や生徒会活動、学級活動に積極的に取り組んでいる。	生徒アンケート		B 89.6(88.3) B 89.9(92.0)	46.9 44.7	

学校評価報告書

中間 **年度末**

令和5年度 内灘町立内灘中学校

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な 具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の 達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答 %	○成果 ◆課題 ・改善策
豊かな心の育成	② 学校行事・ 生徒会活動 等の活性化 や集団づく り	仲良く安心して過ごせる温かい学年・学級 づくりに努めた。	教職員アンケート		A 100(95.0) A 100(97.4)	38.1 53.8	○ 「学校へ行くのが楽しい」への生徒の肯定的回答の割合が昨年度後期より約5ポイント上昇している。 ◆ 「学校へ行くのが楽しい」への生徒の肯定的回答の割合が、前期よりも1.6ポイント低下している。 ・ 行事だけではなく、日々の授業で学ぶ楽しさを感じられる学校づくりを目指す。教職員の授業力向上は必須である。
		学校に行くのが楽しい。【町共通項目】	生徒アンケート	A:①+②が95%以上 B:①+②が85%以上 C:①+②が75%以上 D:①+②が75%未満	B 89.7(80.9) B 87.1(82.3)	47.9 39.3	
		わが子は、楽しそうに学校へ通っている。	保護者アンケート		B 83.7(81.3) B 87.7(85.9)	32.9 28.8	
		部活動や習い事等に意欲的に取り組んでいる。(R5改)	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 94.0(92.2) A 91.0(93.6)	67.5 62.1	
		人の役に立つ人間になりたいと思う	生徒アンケート		A 97.0(97.2) A 95.2(95.4)	70.9 68.4	
	③ キャリア教育の推進	将来の夢や目標を持つことの大切さを指導している【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 97.6(95.0) A 100(97.4)	45.2 56.4	○ キャリア教育への教職員の意識は確実に高まっている。生徒の変化にはまだ現れていないが、キャリア教育の重要性を全教職員で共有したい。 ・ 全校集会等の機会を使って、生徒の意識を高める指導を行っていく。
		我が子は、将来の夢や目標をもっている。【町共通項目】	保護者アンケート	A:①+②が80%以上 B:①+②が65%以上 C:①+②が50%以上 D:①+②が50%未満	C 62.8(61.3) B 66.5(60.0)	18.8 18.3	
		将来の夢や目標をもっている。【町共通項目】	生徒アンケート		B 71.2(71.2) B 69.3(72.3)	41.9	
	④ 読書活動の推進	進んで読書をするようにしている。	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	D 68.4(71.5) D 58.3(69.8)	32.7 25.7	◆ 今年度よりeライブラリーが導入され、図書館での貸出冊数が大きく減少している。読書量の増減が分かりづらくなっている。

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な 具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の 達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答 %	○成果 ◆課題 ・改善策
安心して健やかな教育の充実	① 安全指導の 充実	危機管理意識を高くもって、日常の安全指導を行っている。【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 100(100) A 100(100)	52.4 53.7	◆ 危機管理の視点から、報告・連絡・相談を今後も徹底していくことが必要である。 ・ 今年度は不審者対応の避難訓練を行った。今後も、訓練の大切さを生徒に丁寧に指導していく。
		報告・連絡・相談を確実にし、組織的な対応ができた。	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 97.7(100) A 100(97.4)	53.5 61.9	
		学校は、交通安全や不審者対策などに危機意識をもった取組をしている。【町共通項目】	保護者アンケート		A 97.1(95.6) A 97.0(96.6)	41.3 34.4	
	② 心身の健康 づくり	朝食を毎日食べている [全国質問紙] (A:毎日食べる B:週に2,3回食べないことがある C:週に4,5回食べないことがある D:ほとんど食べない)	生徒アンケート		A 95.6(96.1) A 94.8(95.2)	82.9 85.1	◆ 約13%の生徒が食事と睡眠についての不安を持っている。就寝時刻と起床時刻を揃えることの大切さを指導する必要がある。 ・ 給食の残色が減らない。食育については栄養教諭及び家庭科教諭が中心となり、バランスの取れた食事のよさを伝えていく必要がある。
		わが子は家庭で毎日朝食を食べている。	保護者アンケート		A 94.9(94.3) A 95.0(94.0)	76.9 78.4	
		生活習慣(食・睡眠等)に関心を持ち、自分の健康に注意している。	生徒アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	B 89.1(90.6) B 86.5(87.3)	49.8 52.1	
		わが子は、家庭できちんとした生活習慣が身についている。	保護者アンケート		C 68.0(75.3) C 73.0(72.6)	19.0 18.3	
		スマホやタブレットPC等の使用について、ルールを守るよう心がけている。	生徒アンケート		A 91.6(89.5) A 93.2(91.1)	56.7 53.3	
		スマホやタブレットPC等の使用について、家庭内のルールがある。	保護者アンケート		B 76.0(新) C 72.6(新)	22.6 19.2	

学校評価報告書

中間 **年度末**

令和5年度 内灘町立内灘中学校

①よくあてはまる ②あてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

重点目標	主な 具体的取組	評価の観点	評価方法	実施状況の 達成度判断基準	評価(①+②)% 上段:前期、下段:後期 ( )は前年度	①回答 %	○成果 ◆課題 ・改善策
開かれた 信頼される 学校づくり	学校情報の 開示	各種便りや学校HP等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えるよう努めている。【町共通項目】	教職員アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が80%以上 C:①+②が70%以上 D:①+②が70%未満	A 90.5(90.0) A 95.1(76.2)	35.7 39.0	◆ 「学校を信頼してわが子を預けている」の肯定的回答を100%にしたい。 ・ 部活動や行事だけではなく、授業での様子を積極的にホームページで公開する等、学校の教育活動の「見える化」を今後もすすめていく。
		学校は、各種便りや学校HP等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えている。【町共通】	保護者アンケート		A 96.6(93.0) A 97.5(94.5)	38.5 32.2	
		学校を信頼してわが子を預けている。	保護者アンケート	A:①+②が90%以上 B:①+②が75%以上 C:①+②が60%以上 D:①+②が60%未満	A 96.6(93.3) A 97.3(92.3)	41.4 38.8	
教職員の 業務適正化 に向けた取組 の充実【働き 方改革】	① 業務効率化 への意識	業務の効率化を意識して、日常の業務改善に取り組むことができた。	教職員アンケート	A:①が90%以上 B:①が75%以上 C:①が60%以上 D:①が60%未満	C 72.7(68.0) B 81.4(64.3)	27.3 32.6	◆ 前期と比較してかなり改善している。時間外勤務を減らし、心身共に健康な状態で教育にあたることは教員の仕事である。 ・ 限られた時間の中で最大の効果をねらう意識を教職員全体に繰り返し指導していく。
	② 町教職員働 き方改革方 針の目標達 成	時間外勤務は、1ヶ月45時間以下である。【町共通項目】	勤務記録	A:①が80%以上 B:①が65%以上 C:①が50%以上 D:①が50%未満	D D	14.0 38.1	
		時間外勤務は、最も多い月で上限80時間である。【町共通項目】	勤務記録		C B	58.1 73.8	